

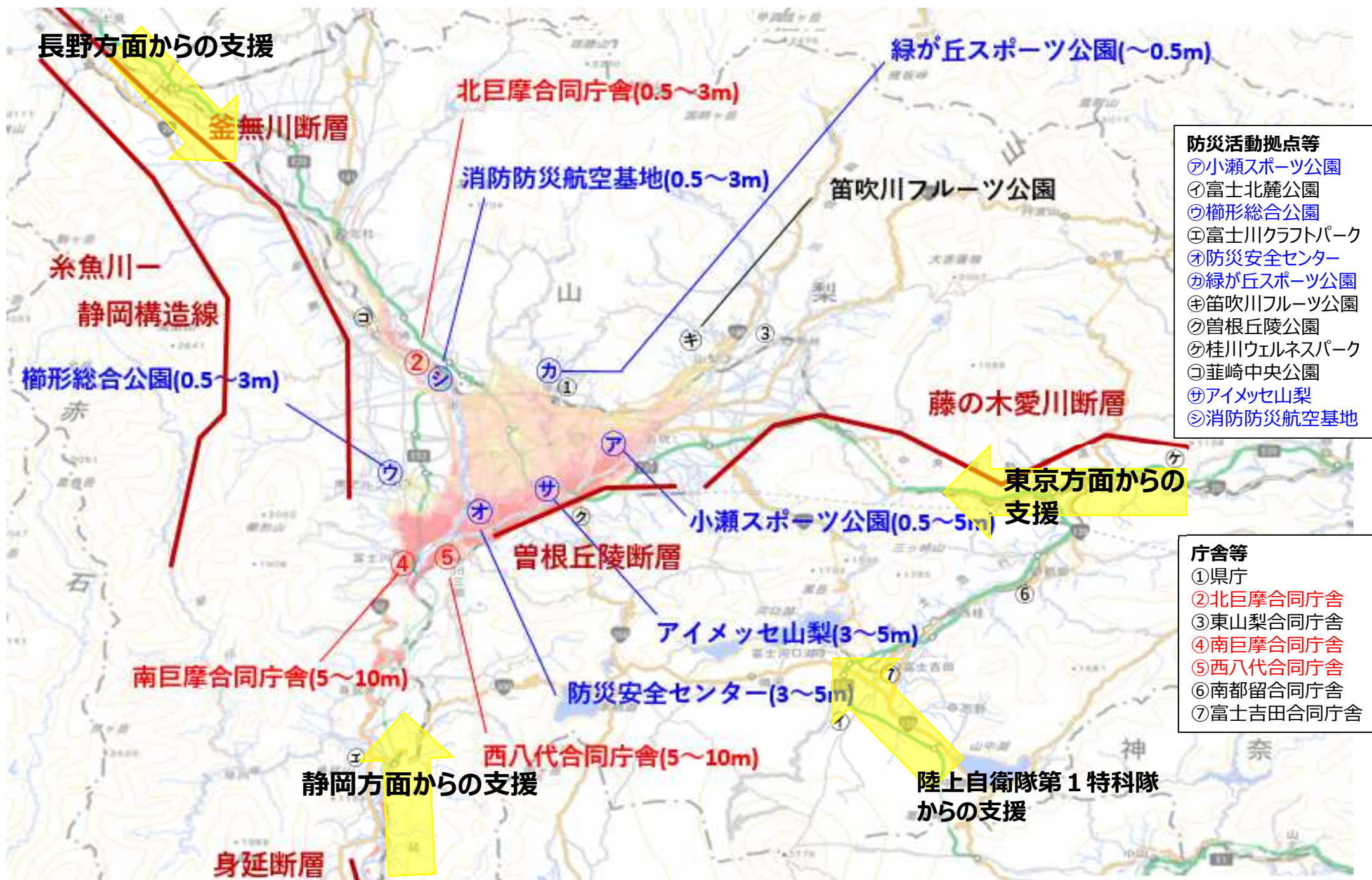
2. 本県の防災拠点の現状について

防災危機管理課

2-1. 県内の既存防災施設

区分	No.	施設名称	所在	用途	想定されるリスク
防災活動拠点等	㉞	小瀬スポーツ公園	甲府市	警察、自衛隊、消防、国交省	浸水深 最大5m (12~72h継続)
	㉟	富士北麓公園	富士吉田市	警察、自衛隊、消防	溶岩流 到達3時間
	㊱	楡形総合公園	南アルプス市	自衛隊、消防	浸水深 最大3m (12h継続)
	㊲	富士川クラフトパーク	身延町	警察、自衛隊、消防	
	㊳	県立防災安全センター	中央市	自衛隊、消防	浸水深 最大5m (24h継続)
	㊴	緑が丘スポーツ公園	甲府市	自衛隊、消防	
	㊵	笛吹川フルーツ公園	山梨市	警察、自衛隊、消防	
	㊶	曽根丘陵公園	甲府市	自衛隊、消防	
	㊷	桂川ウェルネスパーク	大月市	警察、自衛隊、消防	
	㊸	韮崎中央公園	韮崎市	警察、自衛隊、消防	
	㊹	アイメッセ山梨	甲府市	物流事業者等	浸水深 最大5m (72h継続)
	㊺	消防防災航空基地	甲斐市	消防防災ヘリコプターの運用	浸水深 最大3m (24~72h継続)
庁舎等	①	県庁	甲府市	県災害対策本部	
	②	北巨摩合同庁舎	韮崎市	中北地方連絡本部	浸水深 最大3m (12h継続)
	③	東山梨合同庁舎	甲州市	峡東地方連絡本部	
	④	南巨摩合同庁舎	富士川町	峡南地方連絡本部	浸水深 最大10m (72h継続)
	⑤	西八代合同庁舎	市川三郷町	庁舎に入る出先機関が活動	浸水深 最大10m (168h継続)
	⑥	南都留合同庁舎	都留市	富士・東部地方連絡本部	
	⑦	富士吉田合同庁舎	富士吉田市	庁舎に入る出先機関が活動	溶岩流 到達3時間

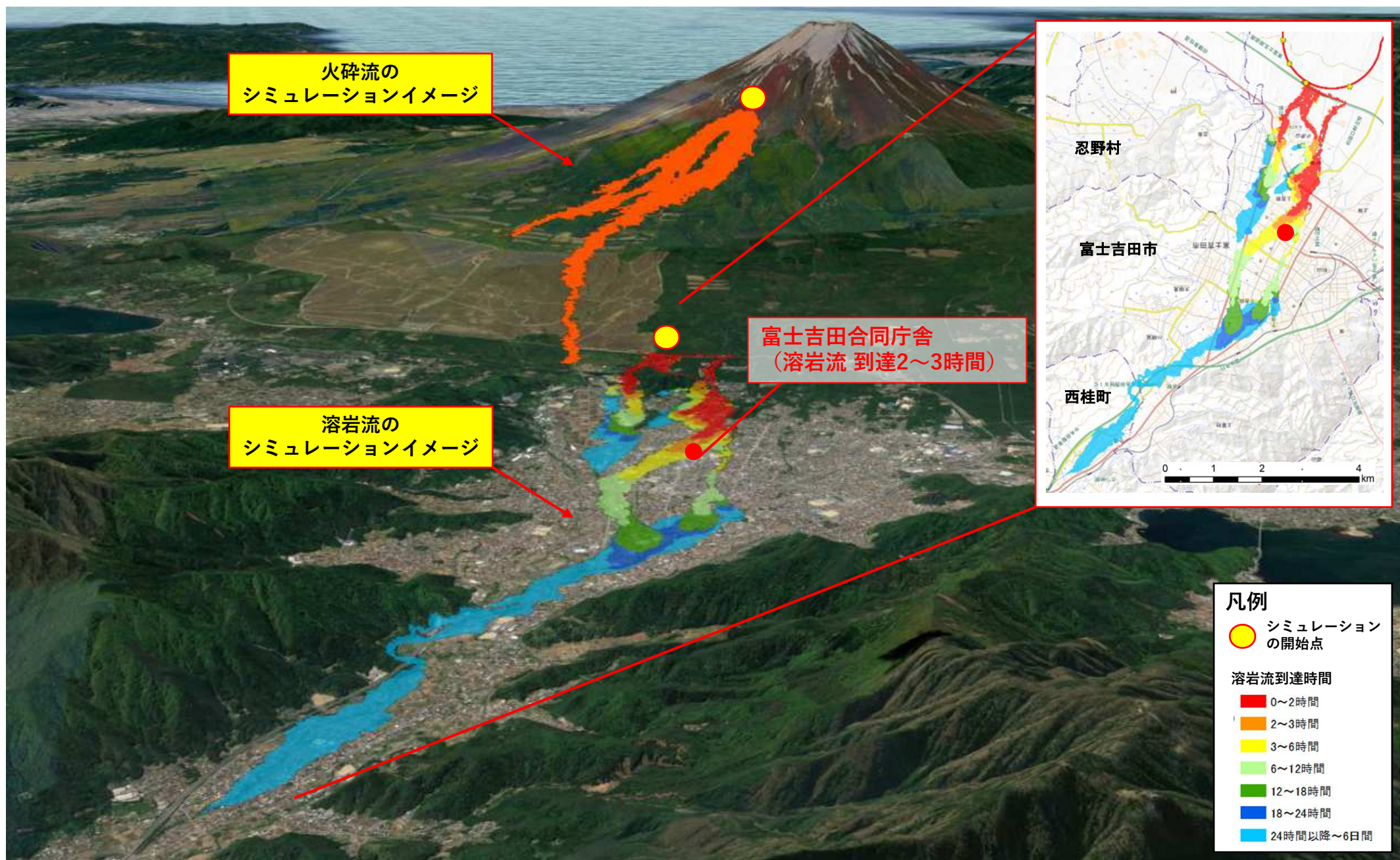
2-2. 本県における災害リスク（浸水・活断層）



- 防災活動拠点等**
- ㊦小瀬スポーツ公園
 - ①富士北麓公園
 - ㊦榊形総合公園
 - ⑤富士川クラフトパーク
 - ㊦防災安全センター
 - ㊦緑が丘スポーツ公園
 - ㊦笛吹川フルーツ公園
 - ㊦曾根丘陵公園
 - ㊦桂川ウェルネスパーク
 - ㊦韮崎中央公園
 - ㊦アイメッセ山梨
 - ㊦消防防災航空基地

- 庁舎等**
- ①県庁
 - ②北巨摩合同庁舎
 - ③東山梨合同庁舎
 - ④南巨摩合同庁舎
 - ⑤西八代合同庁舎
 - ⑥南都留合同庁舎
 - ⑦富士吉田合同庁舎

2-3(2). 本県における災害リスク（富士山噴火・溶岩流）

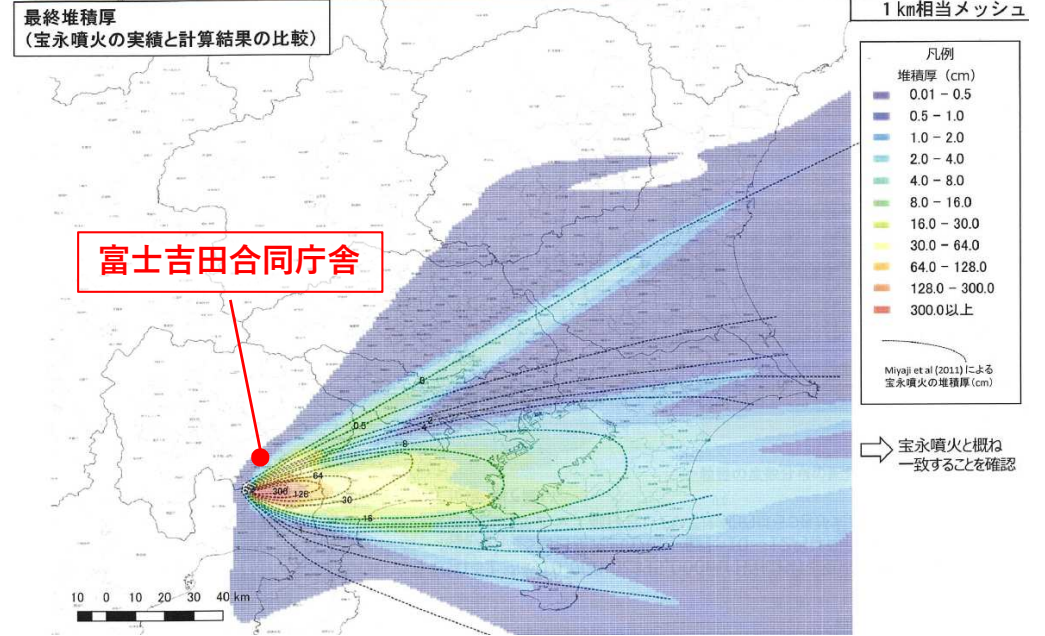


2-4. 本県における災害リスク（富士山噴火・降灰）

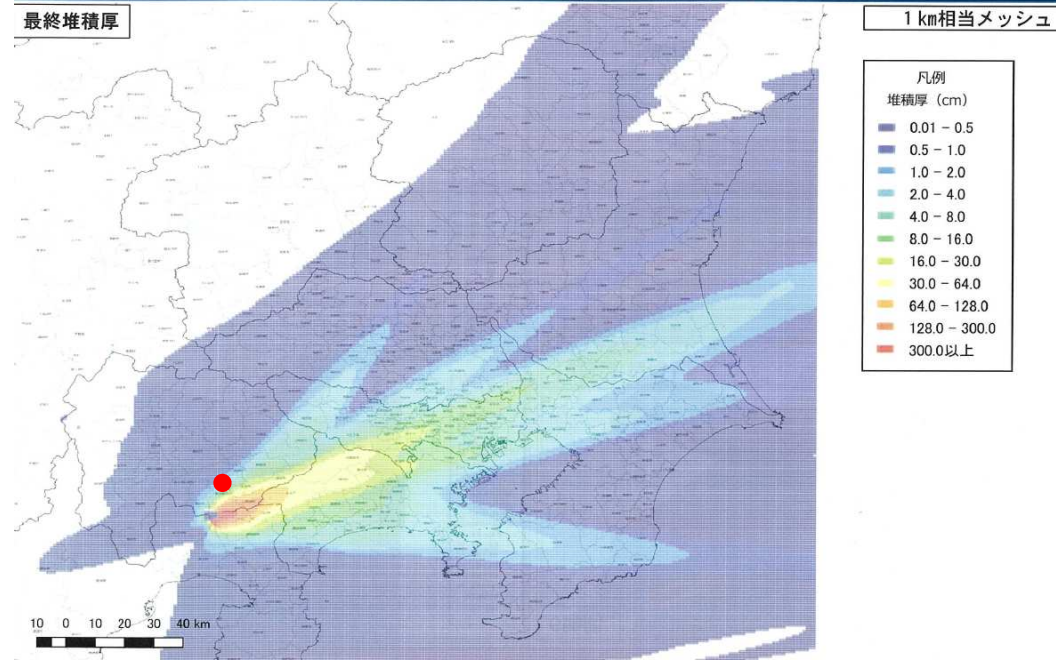
- 降灰分布が大きく依存する風向風速については、過去10年の館野の高層観測データ（気象庁）から、
 - 宝永噴火の実績に類似する西風卓越ケース
 - 影響下の人口・資産が大きくなる西南西風卓越ケース
 - 風向の変化が比較的大きい南寄りの風のケースを設定した。

	ケース1	ケース2	ケース3
規模・噴出率	宝永噴火の規模・噴出率		
継続時間	15日間		
風向	西風卓越 (2018年12月16～30日)	西南西風卓越 (2010年10月14～28日)	変化が大きい南寄りの風 (2012年9月2～16日)
降灰分布	神奈川県と千葉県に降灰分布の中心	神奈川県と東京都に降灰分布の中心	山梨県と静岡県に降灰分布の中心
ケースの特徴	宝永噴火の実績と類似。	10cm以上の降灰範囲の人口・資産が比較的大きい。	比較的風向の変化が大きい。

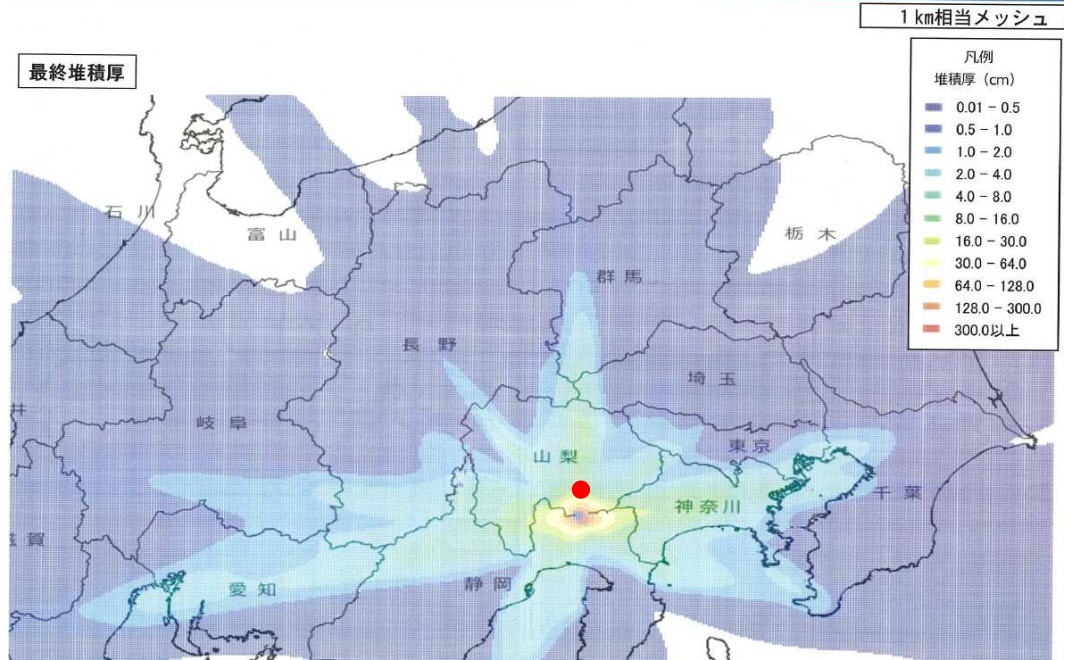
計算結果（ケース1：西風卓越（宝永噴火に近いケース））



計算結果（ケース2：西南西風卓越）



計算結果（ケース3：風向の変化が大きい南寄りの風）



出典：内閣府「大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ」資料（R2.4）から抜粋